

「ロシアのウクライナ侵略は暴挙、平和的解決を」

週刊

明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題

2022. 3. 13
通巻No.1551

日本共産党
小矢部市委員会

市内七社 245
Tel 67-4322
Fax 67-4842

何でも
ご相談を



市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



参議院議員

たけだ良介

前衆議院議員

藤野保史

参議院議員

井上哲士

衆議院議員

笠井あきら

禁無断転載
複写配布

小矢部市議会

全会一致で決議採択 定例会初日

小矢部市議会は3月定例会初日の4日、「ロシアのウクライナ侵略を非難し平和解決を求める決議」を全会一致で採択しました。
ロシア大使館にも送付

この決議を日本政府とともにロシア大使館に送付します。これを審議する全員協議会で砂田市議は、「ロシアがウクライナを攻撃した」と飛び込んだニュースを取り上げ、ロシアの侵略に強く抗議しました。回りの議員たちも「原発を攻撃するとはとんでもないことだ」と口々に怒りの声を上げていました。

提案理由

「一方的な現状変更は明白な国際法違反」

小矢部市議会はこの決議を提案した理由として、「ロシアのウクライナへの侵略は、国際社会の平和と安全を著しく損なう暴挙である」と非難しました。「武力による一方的な現状変更の試みは、国際秩序の根幹を揺るがす明白な国際法違反であり、断じて許すことはできない」と糾弾。ロシアに対して「国際法を遵守し、ロシア軍の即時撤退と平和的解決を求めます」と、県内で街頭から



全会一致で決議を採択した小矢部市議会＝3月4日、右端・砂田市議（市議会YouTube）

日本共産党

戦争反対でいっせいでいい宣言

日本共産党は「ロシアはウクライナから撤退を」と、県内で街頭からいっせいでいい宣言をしています。

日本共産党小矢部西部支部では6日午後、津沢で街頭宣伝をしていたところ、近くの男性が話しかけてきたので、「力では紛争は解決しない、法に基づいた話し合いこそ解決策だと訴えている」と言ったら「なるほど」と納得されました。

日本共産党や憲法を守る小矢部の会は7日朝、石動駅前、交差点で8名が出て「ロシアはウクライナから撤退を」とプラスタールを掲げてアピールしました。



石動駅前「戦争反対、平和憲法を守ろう」とアピール＝3月7日



22年度予算案概要(その4)

★ 石動第2放課後児童クラブ 4月開設

定員60名に80名が希望

石動小学校に併設されている石動放課後児童クラブの横に、新たに石動第2放課後児童クラブを開設します。定数60名のところ、新年度の希望をとつたら80名になったので、4月開設に間に合うように、21年度3月補正予算で422万6千円の債務負担行為をします。開設作業は3月中に行いますが、22年度に支払いをすることを保証するものです。

議案説明が行われた4日の全員協議会で砂田市議は、「放課後児童クラブは国では定員40名が望ましい」としているのに、これまでの定員60名は多すぎた。コロナのこともあるし、これを機会に定員40名に抑えるように工夫できないのか」と質問しました。民生部長は検討してみると述べました。

★ 石動駅北地区調査事業費250万円

JAいなほ本店が松沢地区へ移転し、Aコープも閉店します。その跡地を含め、石動駅北地区4・3haにおいて、現地測量による現況平面図を作成し、今後の企業誘致にあたっての検討資料として活用します。

この問題では昨年12月議会で、企画政策部長が「新たな区画整理事業等を行う予定はないが、無秩序な土地の利用はできる限り避けたい。・・・民間の立地を促していきたい。・・・どのような施設が必要で、誘致すべきなのかを示していきたい。市民ニーズを適切にとらえて、市が主体となって、責任を持って策定すべき」と（加藤議員への答弁）と述べました。さらに「誘致すべき施設の一つとして、ファミリーレストランやファストフード店等が検討される」（山室議員への答弁）と答えています。

★ 新生児聴覚検査費用助成 75万円

先天性聴覚障害の出現頻度は1000人に1、2人といわれ、新生児期に早期発見早期療養を図り、聴覚障害による言語発達等への影響を最小限に抑えるため、新生児聴覚検査費用の助成を行います。上限5千円

★ ペレットストーブ設置推進事業費 10万円

★ 公共交通先進地事例研究 12万円
フルデマンドタクシー（長野県佐久市）
自動運転バス（茨城県境町）など